

令和２年度進行管理・評価シート
掛川市歴史的風致維持向上計画（平成30年１月23日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画法との連携		2
2 景観計画との連携		3
3 屋外広告物の制限		4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的街並み調査事業		5
2 歴史的風致形成建造物の保全・活用事業		6
3 松ヶ岡(旧山崎家住宅)保存修理・活用事業		7
4 横須賀城跡復元・活用事業		8
5 高天神城跡復元・活用事業		9
6 高天神六岩「中村砦」保存・活用事業		10
7 郷土芸能・伝統行事伝承事業		11
8 三熊野神社大祭調査研究事業		12
9 祭典伝承PR事業		13
10 葛布産業振興支援事業		14
11 茶手揉み技術伝承事業		15
12 掛川茶マイスター認定制度推進事業		16
13 重要文化的景観の調査研究事業		17
14 掛川道徳の学習推進事業		18
15 城下町風街並みづくり事業		19
16 横須賀景観整備機構運営支援事業		20
17 掛川城周辺電線地中化、道路美装化及び 街路灯修景事業		21
18 横須賀街道電線地中化及び美装化事業		22
19 粟ヶ岳周辺における景観形成推進事業		23
20 郷土読本作成事業		24
21 文化財展の開催事業		25
22 市内の歴史・文化資産のガイド養成事業		26
23 掛川銀行復元・活用事業		27
24 サイン・案内板設置事業		28
25 レンタサイクルの推進事業		29
26 掛川公園と周辺整備事業		30
27 「土の掛川城、農の報徳社、町人の松ヶ岡」 周遊道路整備事業		31
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査、保存管理(活用)		32
2 文化財の修理、周辺環境整備		33
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、団体との連携		34
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		35
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光の振興		36

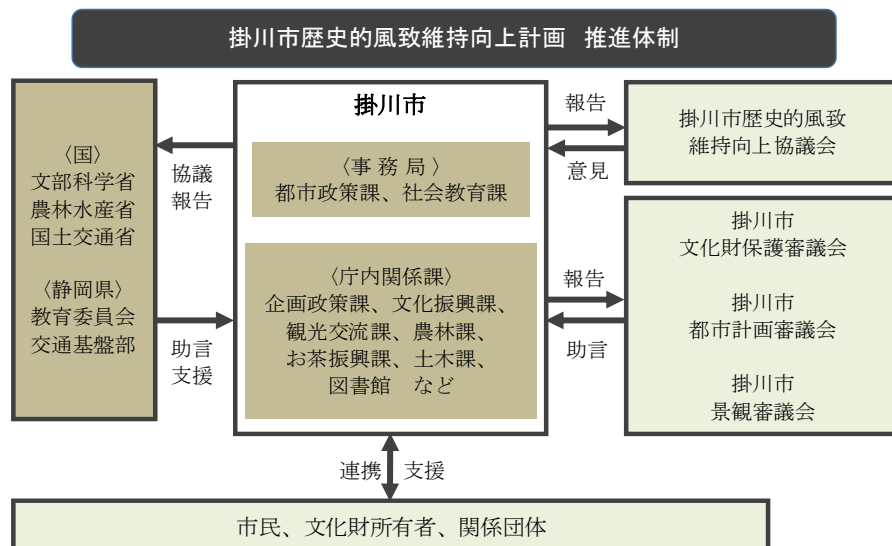
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		37
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
計画の推進体制			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に係わる都市政策課と社会教育課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を得るとともに、掛川市歴史的風致維持向上協議会と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、掛川市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画策定時の体制を維持し計画的な推進を図った。 令和2年度より、文化財の保護に関する事務を教育委員会から市長部局へ移管し、文化財をまちづくりに活用することで地域の活性化を促進することとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	名称変更に伴う歴まち計画の軽微な変更を国土交通省へ届出ます。		

状況を示す写真や資料等

(計画書P.191)



※観光交流課は観光・シティプロモーション課に名称が変更されています。

※掛川市歴史的風致維持向上協議会は掛川市歴まち協議会に名称が変更されています。

※令和2年度から、文化財に関する事務を社会教育課から文化・スポーツ振興課に移管したことにより、事務局は都市政策課と文化・スポーツ振興課となります。

※令和2年度から、土木課は土木防災課に名称が変更されています。

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
都市計画法との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	用途地域の指定状況を踏まえた上で、適切な土地利用の誘導により、周辺環境との調和に努める。特に価値が高いと判断された建造物群で、保存措置が必要な場合は、伝統的建造物群保存地区の制度の活用も検討していく。「掛川城下地区」では、「掛川市城下町風街づくり地区計画」等により、引き続き歴史的風致と調和した良好な市街地環境の形成を図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成6年(1994年)決定の「城下町風街づくり地区計画」に基づき、掛川駅北地区における城下町風街づくりの推進及び健全な都市景観の形成を図った。 平成6年度から届出実績延べ67件(令和2年度実績1件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.200～P.202)



城下町風街づくり重点地区(大手門周辺)



城下町風街づくり重点地区(掛川城南側)

重点区域における良好な景観を形成する施策

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

景観に配慮した新築住宅と街並み

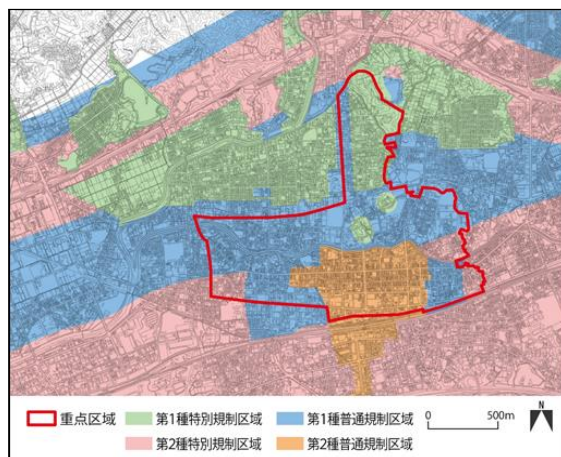
評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

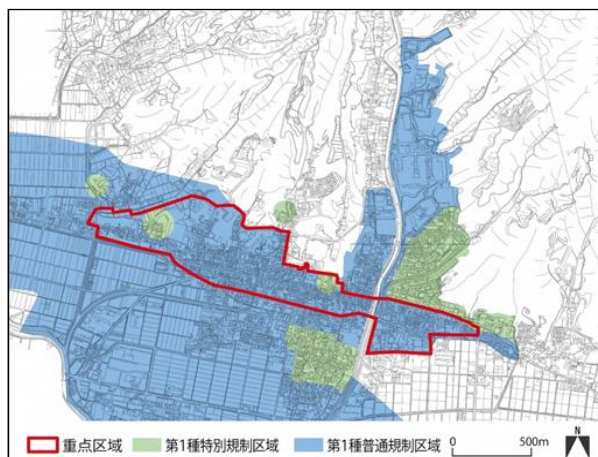
令和2年度	
項目	現在の状況
屋外広告物の制限	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、本市独自の屋外広告物条例の制定に向けて検討を進める。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
「静岡県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導及び設置許可を行った(令和2年度350件:3月末見込み)。 本市独自の屋外広告物条例は、県条例に基づく違反屋外広告物の指導を進めたうえで、制定に向けた検討を進める。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

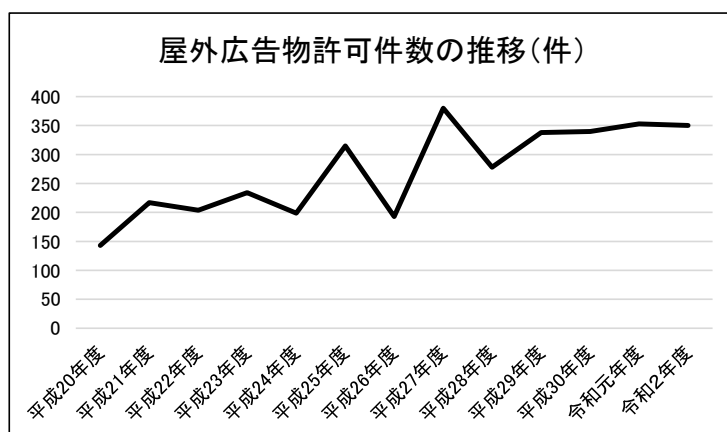
(計画書P.204～P.206)



「掛川城下地区」の規制区域



「横須賀城下地区」の規制区域



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
歴史的街並み調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市内各所に歴史的な建造物が残っているが、十分な整理がされていないため、建築様式や建築時期などの調査を行い、掛川市景観計画に基づく景観重要建造物及び文化財への指定を推進する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成6年(1994)に復元された掛川城天守を、景観計画に定める方針及び国の基準に基づき、令和3年2月9日景観重要建造物に指定した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今回の指定は工作物(掛川城天守、石垣、塀、門)を対象としたが、今後それらと一体となって良好な景観を形成している敷地などについても指定していく議論を進めていきたい。	
状況を示す写真や資料等		
(計画書P.222)		
景観重要建造物指定の方針・基準		
景観重要建造物の指定の方針(掛川市景観計画 II-4) ① 優れたデザインを有し、地域のシンボリックな存在であり、良好な景観の形成に寄与する建造物 ② 街角やアイストップ(多くの視線が集まる場所)に位置するなど、地域の景観形成に取り組む上で重要な位置にある建造物 ③ 地域の自然、歴史、文化、生活などから見て、これらの特性が形として現れたものであり、地域を象徴する建造物		
上記1(6)の特徴のとおり、東海の名城と謳われた掛川城は、市民の寄付を募り再建されたことから、掛川市民のシンボルであり、城下町風まちづくりの核となる建築物である。(①に該当する) 市の玄関口である新幹線のホームをはじめ、逆川沿いや大手門周辺からも眺めることができ、城下町風まちづくりに取り組む上で重要な位置にある。(②に該当する) 掛川城再建により、城下町として栄えた歴史が再び姿を現し、歴史まちづくりを図るうえで重要な建造物である。(③に該当する)		
国で定める基準 ① 地域の自然、歴史、文化等からみて、建築物の外観が景観上の特徴を有し、景観区域内の良好な景観の形成に重要なものであること。 ② 道路その他公共の場所から公衆によって容易に望見されるものであること。		
掛川城の再建によって、城下町として栄えた歴史が140年の時を経て再現された。城下町風街づくりの中核的存在であり、この地域の景観形成に非常に重要なものである。(①に該当する) 逆川沿いをはじめ、その他公共の場所から容易に見ることができるものである。(②に該当する)		



景観重要建造物
(掛川城天守、石垣、塀、門)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物の保全・活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物において、維持保全及び文化・観光資源としての活用を図るために、必要に応じて現況調査、補修などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年4月1日に、松ヶ岡(旧山崎家住宅)を歴史的風致形成建造物に指定した。 また、掛川城の維持保全及び文化・観光資源としての活用を図るために、掛川城を含む周辺施設の中長期修繕計画を策定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.223)

掛川市歴史的風致形成建造物 指定台帳	
指定番号	第1号
指定年月日	令和2年4月1日
名称	松ヶ岡(旧山崎家住宅)
所在地	掛川市南西郷 838 番地
建築年代	主屋:安政3(1856)年 長屋門、米蔵、奥座敷棟及び金庫蔵等:江戸末期～昭和初期
規模	敷地面積 5,302.16 m ² 延床面積 1,157.45 m ²
所有者(所有者の住所)	掛川市(掛川市長谷一丁目1番1号)
指定の理由	松ヶ岡(旧山崎家住宅)は、掛川藩御用商人の筆頭と言われた山崎家により建築された。 山崎家は、掛川や周辺地域のインフラ整備に多くの私財を投じ、現在の掛川の基礎を築いただけでなく、初代掛川町長や日本経済の先駆者などの偉人も輩出している。 建造物は、当時の近代和風建築が一体で残される貴重なものであり、掛川市の歴史的風致の維持及び向上に必要なものであることから、歴史的風致形成建造物に指定する。
現況の写真	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
松ヶ岡(旧山崎家住宅)保存修理・活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業、街なみ環境整備事業)及び市単独事業		
計画に記載している内容	掛川藩御用達を勤めた豪商山崎家の住宅(松ヶ岡)の修復を行う。また、重要文化財指定を目指すとともに、地域の発展を伝える施設等として活用していく		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度に修復工事の修復・活用調査設計、平成30年度に実施設計、令和2年度は大規模修復工事に着手し、屋根の解体調査などを行った。 松ヶ岡の建物や歴史、地域発展に寄与した山崎家の功績等の周知のため、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、毎月第4土曜日に一般公開を実施・継続し、松ヶ岡の文化的価値を発信することに寄与した。 また工事の進捗と成果を知ってもらうための工事現場見学会を複数回開催し、文化財の修復を間近で見学する機会を設けた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	修復費用は寄附金で賄うため、引き続き周知・啓発を進め、寄附金を募っていく。		
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.224)



修復工事が開始された松ヶ岡



工事現場見学会の開催



工事内部の様子



屋根から発見された未使用の和釘の束

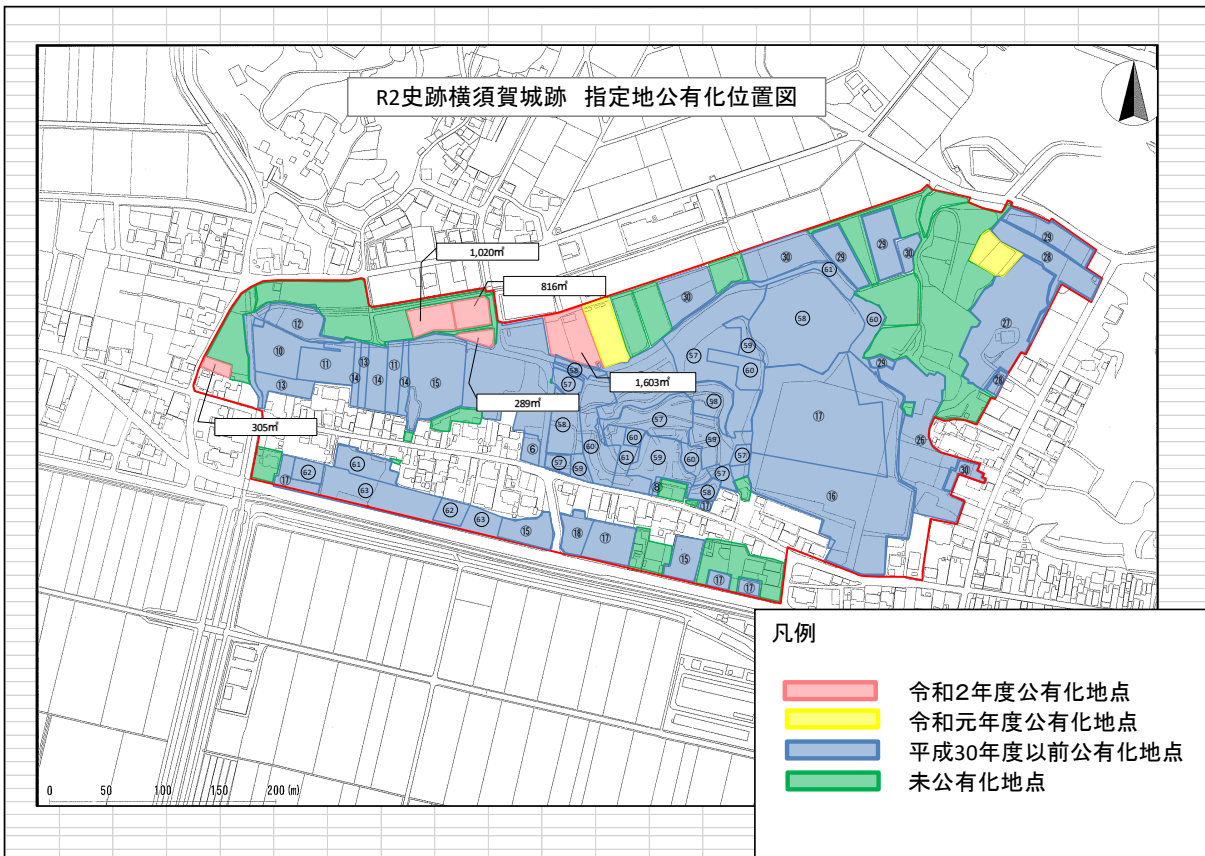
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和2年度		評価対象年度
現在の状況		項目
☐実施済 ☒実施中 ☐未着手		横須賀城跡復元・活用事業
事業期間	平成21年度～令和8年度	
支援事業名	史跡等購入費国庫補助金、静岡県文化財保存費補助金	
計画に記載している内容	現在は史跡指定地内の公有化を主に進めているが、未整備の部分については整備基本計画に基づき、発掘調査を行い、基本設計、実施設計を作成した後、整備を進めていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
史跡指定地内の公有化を実施し、5筆、4,033㎡の土地を取得した。公有地の面積は119,651.68㎡となり、史跡指定地面積の71.0%が公有化された。 策定されている整備計画の見直しを計画しており、整備委員会を開催した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	市内には横須賀城跡の他に2つの史跡があり相当な時間と費用がかかることから、整備スケジュールを調整し計画的に推進していく。	

状況を示す写真や資料等

(計画書P.225)



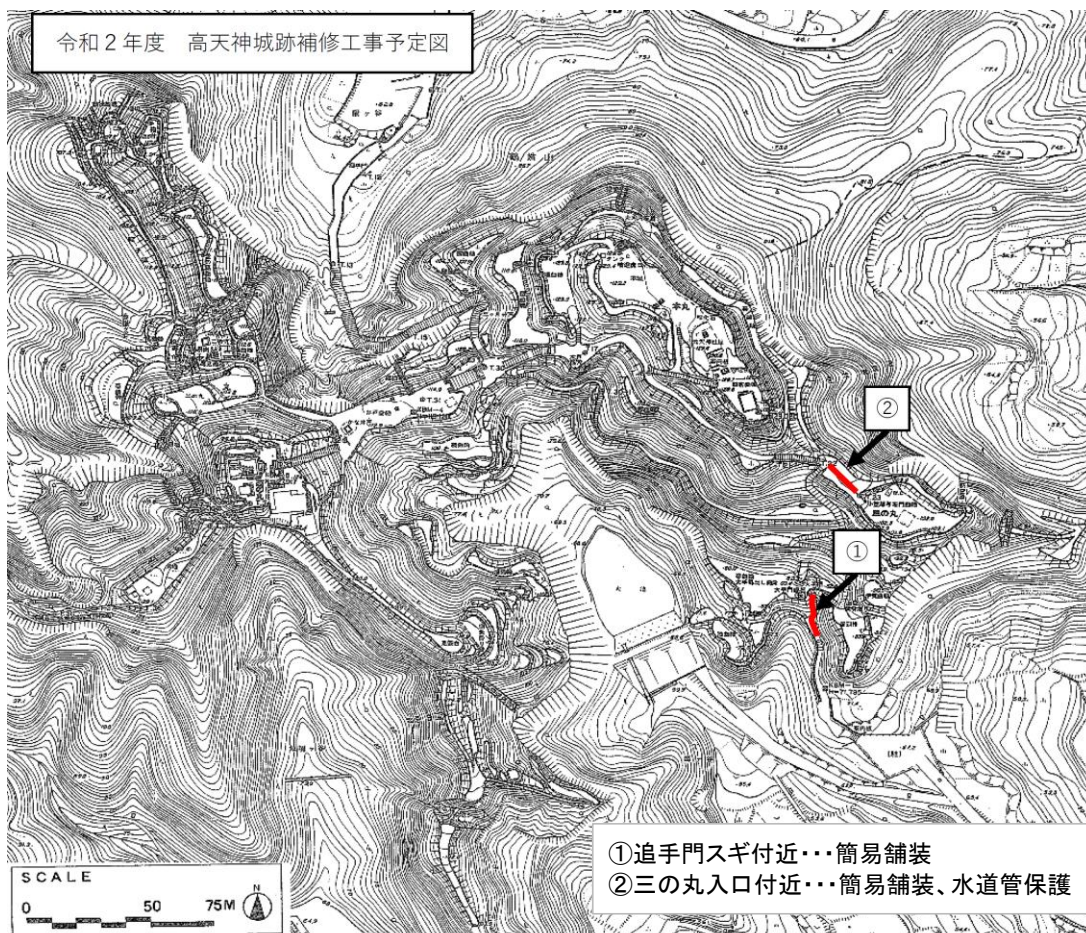
評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
高天神城跡復元・活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成10年度～令和8年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金、静岡県文化財保存費補助金		
計画に記載している内容	基本整備計画に基づき、発掘調査終了部分については、基本設計、実施設計を作成した後、整備を進めている。それと並行して、未調査部分の発掘調査を実施していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は令和元年度に引き続き、遊歩道の補修を行うことで歴史的風致の維持向上に寄与している。(市単独事業) (実施日:令和3年3月中旬)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市内には高天神城跡の他に2つの史跡があり相当な時間と費用がかかることから、整備スケジュールを調整し計画的に推進していく。		

状況を示す写真や資料等

(計画書P.226)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
高天神六砦「中村砦」保存・活用事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	中村砦敷地の一部を市が買収、残りの用地を寄附受領した。地域住民が中心となり竹等を伐採し、環境整備が始まった。史跡として保存し、市と地域が協働により活用していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域住民が中心となって組織された、中村砦城山保全会による環境整備が行われ、平成29年度から木竹の伐採、園路の整備を実施している。令和元年度は広場に芝生を植え付け、地域の憩いの場として整備をし、令和2年度は案内看板を2か所設置した。 また地元小学校の見学などの対応を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.227)



看板の設置



看板(史跡の詳細を解説)



草刈り作業



地元小学生の見学

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
郷土芸能・伝統行事伝承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成17年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	貴重な郷土芸能や伝統行事の保存伝承のための維持管理と後継者指導養成研修などの事業費の一部を補助する。また、郷土芸能等の様子を留め、後世にもその姿を知ることができるよう、報告書を作成し記録として残す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
静岡県指定無形民俗文化財である、「獅子舞かんからまち」、「大東町八坂神社の祇園囃子と祭礼行事」の保存会に対して、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため行事は中止したが、保存伝承や後継者指導養成のための活動は継続し、それに対する事業費の一部を補助した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.228)



獅子舞かんからまち



大東町八坂神社の祇園囃子と祭礼行事

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
三熊野神社大祭調査研究事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成17年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、静岡県文化財保存費補助金		
計画に記載 している内容	県指定の無形民俗文化財である「三社祭礼囃子」及び「三熊野神社の地固め舞と田遊び」の保存伝承のための維持管理と後継者指導養成研修などの事業費の一部を補助する。また、江戸時代の祭りが色濃く継承されていると考えられているが、文化財としての価値が一部明確になっていないため調査研究を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
県指定無形民俗文化財である、「三社祭礼囃子」、「三熊野神社の地固め舞と田遊び」の保存会に対し、保存伝承と後継者指導養成のための事業費の一部を補助した。 平成30年度に国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択された「三熊野神社大祭の祢里行事」の民俗文化財調査について、令和2年度から4年計画で、国庫補助を活用し実施している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年の祭典が中止されたため、祭典時の調査を実施することができなかった。	
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.229)



祢里の巡行に関する聞き取り調査



人形調査



箱書き調査

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況			
祭典伝承PR事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成29年度～令和8年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	祭典等行事の説明板等を周囲の景観と調和するように設置し、伝統行事として理解を深めつつ、交流人口の増加を目指す。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
令和2年度は、掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、掛川市サイン基本方針案を作成した。今後、観光サイン、案内サイン等は、基本方針に沿った意匠形態、色彩、大きさ等により順次整備していく。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						
(計画書P.230) 評価軸③-24参照: サイン・案内板設置事業						

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
葛布産業振興支援事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	葛布の需要開発の考察や葛の多方面での利用の調査・研究、葛布の理解を深め後継者の発掘につなげる体験事業、安定的な原料供給と耕作放棄地での栽培等の研究・調査を行う。また、葛布の文化的価値や葛の活用を市内外に発信し、誘客や消費の拡大を図り後継者の発掘、育成や地域経済の活性化に繋げる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
葛の工業製品化の一環として、市の伝統産業である葛布づくりを体験した大学生が、葛布の商品開発に取り組み、令和3年1月25日に新製品(広報・情報ツール・プロモーション活動等を含む)を発表した。 若者受けしそうな目新しい作品の数々が提案され、市と地元の葛布業者と商品化の可能性を協議することにより、伝統工芸に新しい視点や気付きを取り入れる機会となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.231)



大学生による研究報告


 製作品の一例
 (葛布を使ったコースターを絵葉書で包装)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
茶手揉み技術伝承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	手作業でしかわからない、茶の手揉みによる良質な荒茶製造技術を伝える。また、地元の幼稚園や小学校の生徒たちに茶摘み体験や手揉み体験の機会を設け、市を代表する伝統産業である茶への理解を深める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内小学校を中心に、茶の手揉み技術伝承と茶について学習会を行い、継続的に子どもの茶への関心と理解を深めている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.232)

掛川茶手揉み保存会		
実施日	内 容	出席者
令和2年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手揉み技術実演の活動は中止	
実施日	内 容	出席者
令和元年	手揉み技術実演	掛川市内小学校11校
大城手揉み保存会(後継者養成事業)		
実施日	内 容	出席者
令和2年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お茶の手揉み体験教室は中止	
実施日	内 容	出席者
令和元年	高天神新茶手揉み	10名
	高天神例大祭新茶祭り手揉み実演	5名
	お茶の手揉み体験教室	小学校3校143名

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和2年度	
項目	現在の状況
掛川茶マイスター認定制度推進事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成22年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	お茶の知識や掛川のお茶に深く精通し、掛川茶を美味しく淹れることができるスペシャリストを「掛川茶マイスター」に、その人が携わる店舗を「おいしい掛川茶が飲める店」に認定する。さらに、美味しい掛川茶マップの作成、美味しい掛川茶が飲める店スタンプラリーなどを実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
掛川茶マイスターとは、お茶の知識や掛川のお茶に深く精進し、実際に掛川茶を美味しく淹れることができるスペシャリスト。 平成22年から始まった「掛川茶マイスター」認定制度は、現在79名が認定され、37店舗でマイスターが淹れたお茶を飲むことができる。平成29年度から平成30年度にかけてスタンプラリーを実施した。(令和2年度は認定実績なし)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

(計画書P.233)



掛川茶マイスターが淹れる掛川茶が飲める店MAP
(掛川茶商協同組合HP)

<http://www.kakegawa-cha.com/meister.html>

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
重要文化的景観の調査研究事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	世界農業遺産認定地域を対象に、文部科学省が所管する重要文化的景観の選定に向けた調査研究を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
東山地区を対象に、重要文化的景観の選定と活用に向けて制度の調査を行い、必要な手続きや対象地域におけるメリット、デメリット等をまとめ、庁内で情報を共有している。まずは、掛川市景観計画に基づき、眺望景観の保全を図るため、眺望点指定の検討を行った。 令和3年2月3日に、学術的・専門的な知見を得るために、有識者(静岡県文化的景観保護アドバイザー)による現地調査を実施した。また令和3年3月25日には、文化審議会が現地調査を行い、調査の進め方や活用の仕方について意見交換をした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.234)			
 候補地の状況(東山地区)			
 静岡県文化的景観保護アドバイザー現地調査(令和3年2月3日)			
 文化審議会現地調査(令和3年3月25日)			

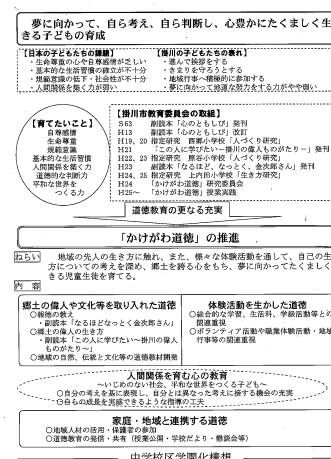
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和2年度	
項目	現在の状況
かけがわ道德の学習推進事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	生涯学習や総合学習などにおいて、広く市民に掛川道德に関する学習機会を提供し、学校教育との連携も図りながら、市民の郷土や報徳の教えに対する関心を深める
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 本市ならではの題材や人材を活用し、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育を「かけがわ道德」とし、小中学生を対象に、歴史や文化等を通じて郷土を誇る心を育てている。市内全小中学校において、年間35時間の道德のうち、10%程度を「かけがわ道德」として扱い、郷土読本(副読本)を活用したり、大日本報徳社などの施設に出向いたりなど、地域の偉人、歴史や伝統等を学び、地域に興味と誇りを持つ機会とした。(小・中学生、幼稚園児訪問実績 R2:10校・595名、R1:24校・1415名、H30:26校・2,170名)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

かけがわ道徳構想図



使用副読本



かけがわ道徳構想図

[illegible]

年間計画(一部抜粋)

授業案(一例)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
城下町風街並みづくり事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成3年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地区計画区域において、建築物の修景に要する費用の助成、中心市街地活性基本計画等との整合を図り、同地区の城下町風街づくりを推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市計画法に基づく「城下町風街づくり地区計画」と連携し、掛川城を背景とした街並みの形成を図るため、建築行為等において、基準に適合するものに対し、100万円(対象事業費の1/2)を上限に補助する。平成3年度から延べ95件(令和2年度実績なし)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.236)



補助事例(清水銀行)



補助事例(民間店舗)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
横須賀景観整備機構運営支援事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	景観形成重点地区において、建築等の行為の際に、外観のデザイン等について、地域住民等で構成される横須賀景観整備機構の審査や助言を受けることにより、地域に合った景観を保全していく。現在は任意団体であるが、景観法に基づく指定を目指し、地域住民が主体となった景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「遠州横須賀街道沿道景観重点地区」において、建築行為が計画された際には、「横須賀景観整備機構(任意団体)」による建築物の外観デザイン審査が行われ、協議が整ったものののみ、市に景観形成重点地区行為届出書が提出される仕組みが取られている。横須賀景観整備機構と連携し、当該地区の街並みの維持が図られた。平成26年度から延べ8件(令和2年度実績1件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.237)



認定式(平成26年)



発足式(平成28年)



啓発パンフレット・ステッカーの配布



ステッカー

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
掛川城周辺電線地中化、道路美装化及び街路灯修景事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	掛川城周辺において、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るため、電線地中化及び道路修景整備を実施し、景観形成を行うとともに城内の賑わいを取り戻し観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年6月24日に「静岡県景観形成推進アドバイザー制度」を活用し、大手門周辺の修景舗装について詳細設計業務を行った。景観、道路担当が、景観に対する共通認識を持つ良い機会となった。令和3年度以降から、街なみ環境整備事業を活用し、工事に着手する予定。 また、令和2年度から「静岡県無電柱化推進協議会」に参画し、道路管理者、電気・通信事業者間の円滑な調整を図ることとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.238)



道路美装化予定箇所(大手門交差点)

アドバイザーから助言を受ける
(大手門周辺)

現況(大手門交差点)



整備イメージ案(大手門交差点)

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和2年度	
評価対象年度	現在の状況
項目	
横須賀街道電線地中化及び美装化事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	掛川市景観形成重点地区の横須賀街道において、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るため、無電柱化、道路舗装の美装化及び道路構造物(道路側溝等)の改修を行い、景観形成と観光振興を図る。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
地中化による無電柱化を検討する資料として、都市下水路の破損、腐食、クラック等その他異常の有無を確認する調査を実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	道路内には、既に通信埋設管、水道、下水道や用水路が埋設されており、歩道のない6m弱の道路であり、道路内への埋設には相当な費用がかかる等の課題が多い。

状況を示す写真や資料等

(計画書P.239)



実施予定箇所の状況

評価軸③-19

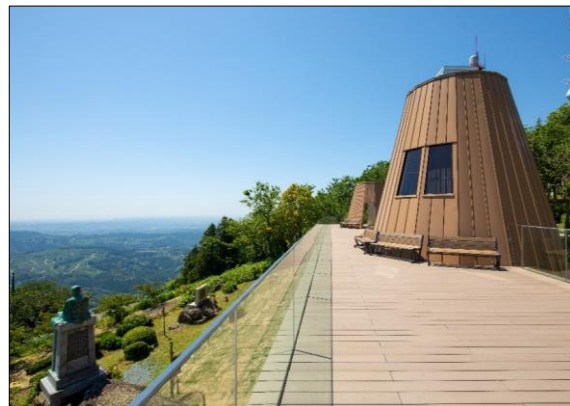
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
粟ヶ岳周辺における景観形成推進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	農業用施設の色彩等の配慮すべき事項、茶草場農法や魅せる農業の推進などを盛り込んだ景観計画を、東山地域の住民と意識共有しながら策定する。また、ビュースポットからの眺望を阻害する電柱移転や防霜ファンの色彩調和、粟ヶ岳登山道のガードレールの改善を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
粟ヶ岳山頂から望む東山地区の茶園景観が、令和2年度の「静岡県景観賞」最優秀賞を受賞したことにより、地域住民をはじめ市民や観光客の景観への関心を高めることに寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		粟ヶ岳山頂へのアクセスは、公共交通手段がなく道路が狭いなどの課題がある。麓駐車場からのウォーキングによる登頂や狭小箇所の改良などを実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.240)



応募写真
(かっぱしテラスと東山大茶園)



応募写真
(パノラマテラスから望む東山大茶園)



「茶文字の里 東山」の方々



表彰式
(令和2年12月21日)

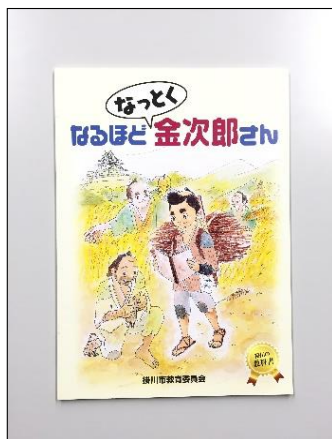
評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

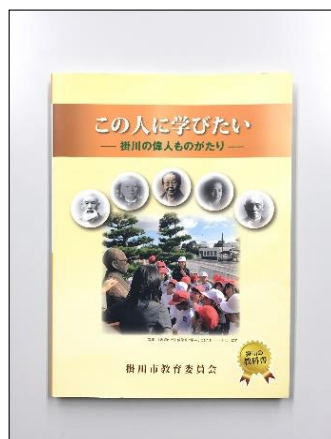
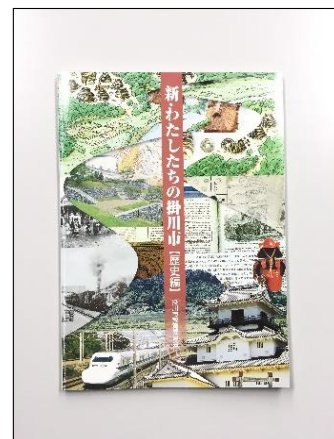
項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
郷土読本作成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	継続事業		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内小中学生を対象に、掛川の歴史、伝統文化や郷土の偉人を学び、地域に興味と誇りを持つ学習を継続的に行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小中学生を対象に、令和3年3月に更新する郷土読本「わたしたちの掛川市」とともに、「新・わたしたちの掛川市(歴史編)」、「この人に学びたいー郷土の偉人ものがたりー」及び「なるほどなっとく金次郎さん」と合わせ、授業で活用することにより、本市の歴史等に誇りと興味を持つ学びを深めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

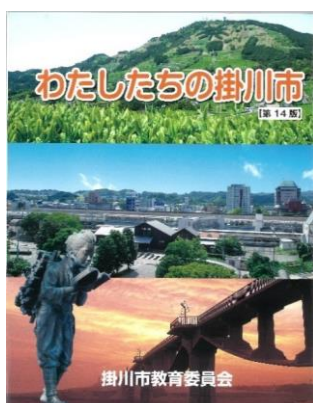
(計画書P.241)



なるほど なっとく 金次郎さん

この人に学びたい
ー郷土の偉人ものがたりー

新・わたしたちの掛川市「歴史編」



わたしたちの掛川市(令和3年3月更新)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財展の開催事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民が文化財を身近に感じ、郷土の歴史・文化・文化財についての理解を深めてもらうため、一般市民を対象とした「出土文化財展」、「考古展」及び遺跡の現地説明会、小・中学生を対象とした「出前文化財講座」及び「夏休み文化財教室」を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度に開催した文化財展等の期間等及び参加人数 出土文化財展(9日間、265人)、出前文化財講座(2校、4学級、100人)、夏の文化財教室(1日間、28名)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	出土文化財展(5日間)、考古展(5日間)と年間2回の展示会を開催していたが、令和元年度から出土文化財展の期間を延長し、展示会の開催を年1回とした。		
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.241)



出土文化財展
(令和2年9月24日～令和2年10月4日)



出前文化財講座「横須賀小学校区内の遺跡」
(令和2年7月20日)



夏の文化財教室「遺跡の発掘を体験しよう」
(令和2年8月1日)

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
市内の歴史・文化資産のガイド養成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史・文化資産の案内ガイドを養成し、観光客への案内が容易に出来る人材育成に取り組むとともに組織化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
掛川観光ボランティアガイド「猫の手」が先進地視察を行うことでボランティアガイドの養成をし、観光客の利便性や、満足度の向上につなげている。 実施日:令和3年3月13日(土) 研修先:焼津市 その他、ボランティアガイドによるおもてなしウォークを実施した。 実施日:令和3年2月21日(日)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新規会員の募集は随時行っているが会員数は横ばいである。また、会員の高齢化に伴い案内できるガイドが固定化してきている。 自らが住む地域の歴史を知ることが郷土愛や誇りの醸成につながることから、市民ボランティア等を養成する歴史講座を実施したり、学校協力のもと、子ども向けの歴史や地域学習の機会を設けるなど検討をしていく。(掛川市観光振興計画より)	
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.243)

富士山の日 おもてなしウォーク

徳川秀忠の生母(西郷の局)ゆかりの地を歩きます。

2021

と き: 2/21(日) あさ9:00~12:00(小雨実施)

集合場所: 西郷みらい館(掛川市上西郷2622)

コ ー ス: 西郷みらい館→五社神社→名字石→観音寺→平塚古墳→石ヶ谷氏霊堂大明神→斎宮→西郷みらい館(約7.2km)

持 ち 物: ウォーキングができる服装、マスク

※参加費無料(定員: 25名)でペットボトル1本と塩飴が出ます。

※参加当日、ご自宅での検温の実施を行ってください。体調不良の方は参加をご遠慮させていただきます。

西郷みらい館まで掛川バスサービスをご利用の方は、掛川駅北口6番乗り場
倉真線8:20発または辰尻線8:30発に乗り、横江バス停下車後、徒歩5分

コースマップ

申込先: 掛川観光ボランティアガイド
猫の手会

申込期限: 2月17日(水)まで

受付時間: 9:00~17:00

TEL: [REDACTED]

FAX: [REDACTED]

※申込みの際、氏名、住所、電話番号をお伝えください。

ボランティアガイドによるイベント募集

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
掛川銀行復元・活用事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	明治13年に設立した当初の姿を復元するため、明治18年の2代目掛川銀行の解体直前の写真や建物概要の記録などをもとに調査、検討を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
未着手			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.243)			

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
サイン・案内板設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	万人にわかりやすいグローバルデザインのものに統一した、歴史文化・観光資産の紹介や案内看板を設置する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和2年度は、掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、掛川市サイン基本方針案を作成し、庁内各課と情報共有を図った。 令和3年度以降、観光サイン、案内サイン等は、基本方針に沿った意匠形態、色彩、大きさ等により順次整備していく。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

(計画書P.244)

3 適用範囲

本方針の適用範囲は、対象区域内において掛川市及び公共施設管理者が道路、公園等に設置する歩行者用の案内サイン、誘導サインとする。

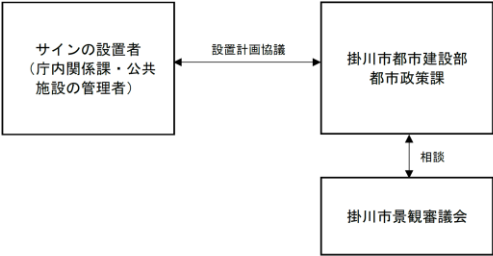
ただし、掛川市が標識令に基づき設置する標識及び国、県等の公共施設管理者が設置する道路標識設置基準等に規定された標識類や、駅構内の独自のサインシステムにおける案内誘導サインなど、すでに一般に広く利用されており、本方針を適用することが難しいものは適用の範囲から除外する。

案内サイン	・地図を活用して現在地や施設等の位置情報を提供する
誘導サイン	・矢印により、地名・地点や施設の方向、距離等を指示する
位置サイン	・名称やピクトグラムにより、施設などの位置を告知する
説明サイン	・施設等の内容を説明する
規制サイン	・歩行者等の行動を規制する

4 運用方法

庁内関係課及び公共施設の管理者は、公共サインを設置しようとする場合、施工前に事前に掛川市都市建設部都市政策課と協議することとする。

都市政策課は、本書に明記している事項と適合しているか否かについて確認し、必要に応じて助言指導する。判断が難しい場合、掛川市景観審議会に意見を求めることもできることとする。



評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
レンタサイクルの推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 公共交通機関と連動したレンタサイクルについて、案内チラシなどによる周知、モデルコースの提案などにより、利用者の拡大を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成31年3月策定の「掛川市観光振興計画」において、掛川駅から掛川城等の主要観光施設を周遊を促すための、レンタサイクルの継続実施と利用促進が位置づけられており、計画的にレンタサイクルの利用者の拡大が図られた。掛川駅北駐輪場及び大手門駐輪場において無料で運用されている。新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客の減少に伴い、令和2年度は477台の貸し出しと、前年度と比較すると半減したが、周遊を促す効果があった。

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.244)

基本方針⑥ 掛川に行きやすい、周りがしやすい環境を整える

取組の柱(1) 広域交通の利便性の向上

具体的な取組① 富士山静岡空港からのアクセスの確保

- 「富士山静岡空港」利用者が本市を訪れやすいように、空港と「掛川駅」を結ぶ交通手段の確保を図ります。
- 空港や「静岡南港」への交通アクセスの向上及び「リニア中央新幹線」開通を見据え、「東海道新幹線掛川駅」への「ひかり」の停車について促進していきます。

具体的な取組② 広域道路の整備

- 広域の交通・交流を促す交通網の構築のため、国や県、市が連携し、国道1号バイパス(掛川・日坂)、国道150号、県道静岡掛川線の4車線化を促進します。
- 高速度道路を含む広域幹線道路間のネットワークとなる富士山静岡空港や小笠山総合運動公園等を結ぶ環・放射状道路の整備を促進します。
- 東名高速道路及び新東名高速道路へのスマートIC設置について、可能性を検討します。

取組の柱(2) 地域間の交通利便性や周遊性の向上

具体的な取組① 地域間道路の整備

- 地域間の道路網を強化するため、県と市が連携し、地域間幹線道路である、大須賀ルート、大東ルート、掛川一御前新ルートなどの整備を促進します。

具体的な取組② 公共交通によるネットワークの強化

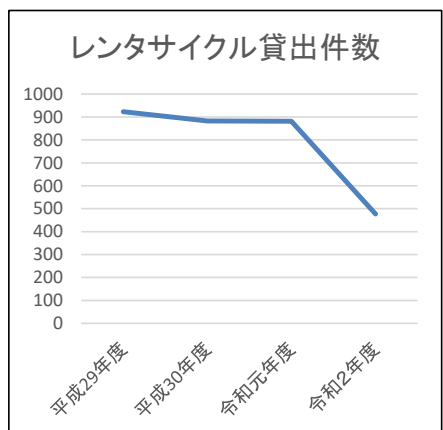
- 主要なバス停などを交通結節点とし、観光案内と公共交通の運行案内を一体的に提供する場を創出するなど、中心市街地・掛川駅と各地域の公共交通によるネットワークを強化します。
- 中心市街地は大型バスの駐車量が少ないため、これら駐車場の確保を検討していきます。

具体的な取組③ サイクリング環境の向上

- 掛川駅でのレンタサイクルの実施を継続するとともに、他の交通結節点や主要観光施設においても周辺への周遊を促すレンタサイクルの実施を推進します。
- 「ペイク・フレンドリー・ステーション」(pfs 歩車)の設置に加えて、観光施設、飲食店、宿泊施設における安全な駐輪スペースの確保、自転車用ロードマップの作成などを進めます。



大手門のレンタサイクル



平成31年3月策定「掛川市観光振興計画(抜粋)」

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
掛川公園と周辺整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	掛川の歴史・文化ゾーンの中心である掛川公園及び三の丸広場におけるベンチ等休憩スペースの確保などの公園整備、周辺道路の歩道拡幅、街灯や公共サインの修景など、周辺環境を整備し賑わいを創出する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度は、三の丸広場隣接の市所有未利用地の利活用に向け、カフェの社会実験やワークショップを行った。 令和元年度は、掛川城下の2地区(城内区・松尾町区)を対象に、住民とのワークショップを実施した。 令和2年度は、まちなかウォーカブル推進事業の中で、有効な活用方法の検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.245)			
 H30ワークショップによる構想図  H30市民ワークショップ  H30カフェの社会実験  R元年城内地区 住民ワークショップ  まちなかウォーカブルのイメージ (居心地が良く歩きたくなるまちなか)			

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
「土の掛川城、農の報徳社、町人の松ヶ岡」周遊道路整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	掛川城周辺地区等には、多くの文化財及び文化施設が集中している。これらの施設を連結的に周遊できるウォーキングルートや案内・説明板を整備していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は、掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、掛川市サイン基本方針案を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.246) 評価軸③-24参照: サイン・案内板設置事業			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財調査、保存管理(活用)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市内には105件の有形・無形の指定文化財、4件の国の登録有形文化財、1件の国選択無形民俗文化財がある。有形文化財については現状を把握し、適切な保存・活用を実施する。3件の国指定史跡については各保存管理計画に沿って、適切な保存整備を行い、県、市指定の史跡現状を確認し、適切な対策を講じる。無形民俗文化財については後継者の指導育成等について支援を行うとともに、保存伝承の手助けとするため記録作成等の調査を実施していく。また、未指定の文化財については悉皆調査を実施し、必要に応じて指定等の措置を講ずる。市内に704件ある、埋蔵文化財包蔵地については、文化財保護法に基づき適切な保護、保存措置を講じていく。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 市内に3件ある国史跡の内、高天神城跡と横須賀城跡については、整備計画の一部見直しの準備のため、整備専門委員会を開催した。和田岡古墳群の内、吉岡大塚古墳については、平成29年度から整備工事に着手しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止に財源確保のため、整備工事を休止した。 市内に4件ある県指定無形民俗文化財の保存会に対して支援を行った。(評価軸③-7、8参照) 令和2年度から調査委員会を設置し、国選択無形民俗文化財「三熊野神社大祭の杵里行事」の民俗文化財調査に着手した。また瀬戸山Ⅰ遺跡において発掘調査を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス蔓延により「三熊野神社大祭の杵里行事」現地調査が、当初の予定どおり実施できず、次年度以降の調査実施が懸念される。		
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.208~P.215)  「三熊野神社大祭の杵里行事」民俗文化財調査  瀬戸山Ⅰ遺跡第8次発掘調査作業風景			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の修理、周辺環境整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理については、日頃の維持管理を含めた予防対策と被害を受けた場合の適切な修理、復旧が求められる。その価値を維持するため、過去の記録などを活用し、新たな調査研究に基づき実施する。所有者の財政的負担の軽減のためにも積極的に各補助制度を活用する。文化財を保存・活用しながら展示できる個別施設や、総合的な情報発信の拠点整備が必要である。また、文化財単体にはのみ措置を講ずるのではなく、周辺環境と一体的な措置を講じることが必要である。文化財は災害などにより毀損、滅失する恐れがあることから、個別に防災対策を検討し被災リスクを軽減していくと共に、文化財に対する防災知識の普及、防犯に対する意識の向上なども図っていく。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 市指定建造物松ヶ岡(旧山崎家住宅)の修復工事に着手し、令和2年度は解体調査工事等を実施。(評価軸③-3) 国史跡高天神城跡にて、台風など豪雨等の影響による崩落で生じた危険箇所の柵の補修を実施。(評価軸③-5) 県指定建造物2件において、所有者が県補助金を受け、防災施設保守点検事業を実施した。(龍華院大猷院霊屋、報徳社建造物群)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 龍華院大猷院霊屋		 修復工事が始まった松ヶ岡	
 淡山翁記念報徳図書館		 旧有栖川宮熾仁親王邸御座所	
 旧有栖川宮熾仁親王邸侍女部屋		 旧遠江国報徳社第三館掛川事務所	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の普及・啓発、防災訓練、団体との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の保存・活用、普及・啓発のため、統一的な案内板の設置、パンフレットの作成、配布を行うとともに観光ボランティアガイド活動の育成やイベントなどを開催する。また、文化財の展示会や講座などを開催し、市民にとって文化財が身近で必要なものになるよう郷土の歴史・文化・文化財についての理解を深めてもらう。文化財の保存、管理及び活用について行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存、管理及び活用に取り組んでいる団体と連携することが必要である。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
一般市民を対象とした、「出土文化財展」、小中学生を対象とした、「出前文化財講座」、「夏の文化財教室」を実施した。(評価軸③-21参照) 重要文化財「大日本報徳社大講堂」で防災施設設置工事を実施した。また、文化財防火デーに合わせ、県指定建造物「龍華院大猷院霊屋」で防火訓練を行った。 市指定建造物である「松ヶ岡」では、修復工事現場見学会を実施した。(評価書③-3参照)市指定史跡「平塚古墳」の保存会が行う、維持、保全事業に対して補助金を交付した。中村砦の保全活動を地元の団体と共同で実施した。(評価軸③-6参照)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 大日本報徳社貯水工事			
 文化財防火デー(令和3年1月26日)		 文化財防火デー(令和3年1月26日)	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
テレビ			
ニュース（ボランティアによる松ヶ岡清掃活動、門松設置）		令和2年12月26日	NHK
ニュース（改修中の豪商邸宅で市民説明会）※松ヶ岡		令和3年1月23日	NHK
百年名家（掛川城・大日本報徳社）		令和3年2月28日	BS朝日
新聞			
掛川山崎家旧宅「松ヶ岡」大規模修復へ調査		令和3年1月16日	中日新聞
掛川・豪商宅「松ヶ岡」修繕中の調査成果解説		令和3年1月16日	静岡新聞
豪商宅「松ヶ岡」特殊な耐震構造		令和3年1月16日	朝日新聞
「松ヶ岡」大規模修復 江戸の豪商宅 当初の姿残し		令和3年1月20日	毎日新聞
「松ヶ岡」耐震構造を説明		令和3年1月25日	読売新聞
中村砦に解説看板設置		令和2年11月14日	静岡新聞
中村城山砦の未来図描く		令和3年2月11日	静岡新聞
粟ヶ岳にハートくっきり 医療従事者へ感謝と敬意		令和3年1月24日	静岡新聞
ハイキングコース 住民有志らが補修		令和3年1月30日	静岡新聞
(いいね!探訪記)お〜い、産地だよ、山からPR		令和3年2月13日	朝日新聞
三熊野神社大祭 規模縮小し開催		令和3年2月6日	静岡新聞
変わる日常 新型コロナ「三熊野神社大祭」 伝統守る新たな挑戦		令和2年12月28日	静岡新聞
大自在 遠州横須賀「笠井屋」		令和2年12月20日	静岡新聞
葛の魅力 検定通じPR 掛川花鳥園 小笠高生 来場者に		令和2年10月6日	静岡新聞
学生が葛布商品案発表		令和3年1月26日	静岡新聞
掛川伝統 葛産業後世に 県内外の26企業、団体 コンソーシアム設立		令和3年3月3日	静岡新聞
市のシンボル掛川城 歴史的風致形成建造物に指定		令和3年3月27日	中日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致に関連する施設や行事の特集や、今後に繋がる取組が報道されたことにより、市民等への本市の歴史まちづくりの周知が図られたとともに、関心を高めることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

観光の振興

計画に記載している内容 関連計画「掛川市都市計画マスタープラン」において、「観光資源や歴史・文化的資源を活かしたまちづくり」が将来都市像に位置付けられている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

観光ニーズが多様化するなか、本市の特性や資源を活かした個性光る観光に取り組み、交流人口を拡大し観光振興さらには地域活性化に繋げるため、平成31年3月に掛川市観光振興計画を策定した。

観光交流客は、景気低迷や地震、冷夏長雨の影響により、平成20年度(3,896千人)から平成22年度(2,929千人)にかけ大きく減少した。その後は概ね増加傾向にあったが令和元年度は年度末の新型コロナウイルスの流行や秋ごろの台風などの天候不順が影響し(3,532千人)にとどまった。宿泊客数は年々増加傾向にあったが、令和元年度は前年とほぼ横ばいの(592千人)にとどまった。

掛川城入館者は、平成20年度以降、毎年10万人程度で推移していたものの、平成25年度から増加に転じた。平成30年度は豪雨や猛暑の影響により減少(123千人)し、令和元年度は(115千人)にとどまった。

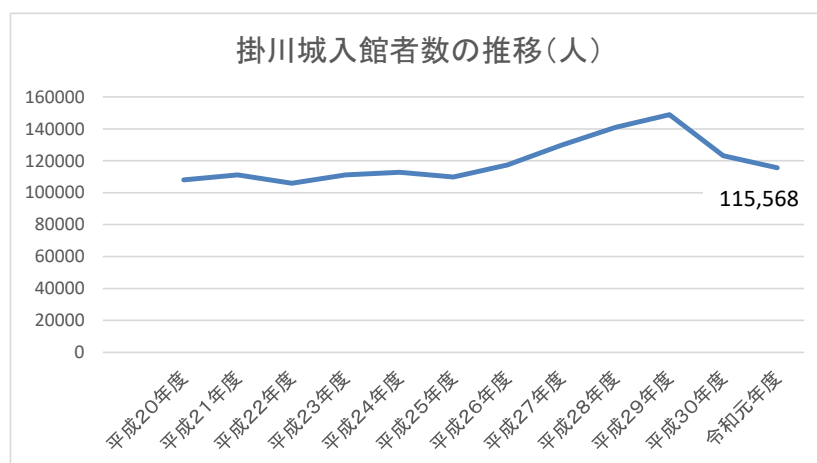
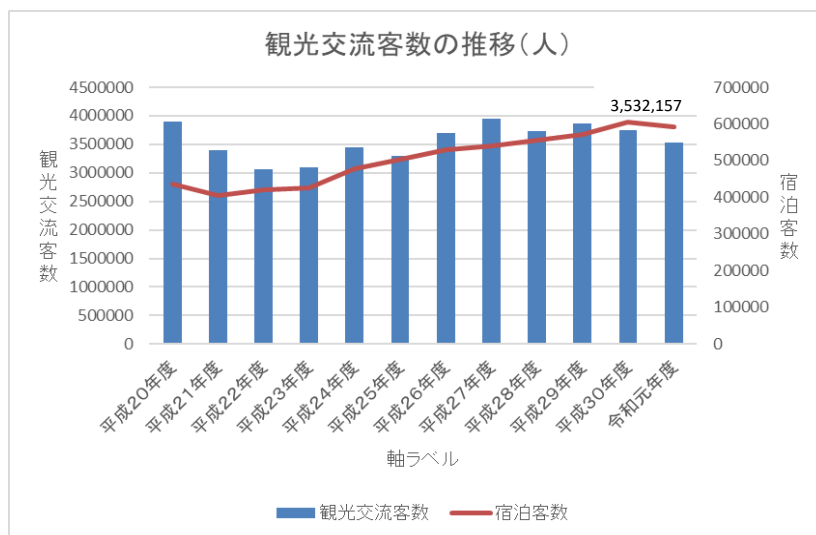
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

観光誘客促進のため、広域・地域間道路の整備、観光施設や歴史資源など市内周遊を促すコース設定や案内看板の設置に加え、掛川市の魅力を伝える動画配信、SNSを通じた情報発信等が必要である。(掛川市観光振興計画より)

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:掛川市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 令和3年3月3日(水) 午前10時から	
(コメントの概要) 【①組織体制】 ・文化財の所管課を市長部局に移管したのは県内で掛川だけである。先進的な取り組みを評価する。 【②重点区域における良好な景観を形成する施策】 【③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】 ・景観重要建造物の指定について、今後その対象を広げ、一体となって良好な景観を形成している部分も指定することを期待する。 ・高天神城跡の危険箇所の手すりなどの整備をしたことで、安心して通ることができるようになった。 ・サイン整備について、市民と協議する場を設け、設置場所や表示内容などを話し合うと、より歴史まちづくりに関する意識啓発に寄与すると思う。 ・静岡県では、文化の秋に文化財の催事を積極的に開催している。掛川市も秋の開催を検討してほしい。 【④文化財の保存又は活用に関する事項】 【⑤効果・影響等に関する報道】 ・市内の歴史まちづくりに関する報道は、幅広く評価シートに記載すること。 【⑥その他(効果等)】 【全般に関すること】 ・粟ヶ岳登山者用の駐車場や登山道の整備、案内看板の整備等について検討していただきたい。 ・まちづくり協議会やサイン計画を活用し、歴史まちづくりを周知し推進する仕組みを構築するとよい。 ・歴史まちづくりが必要なターゲットにアプローチできているのか、市全体としてどのような効果があったのかまとめる必要がある。 ・評価シートが計画書のどの部分に該当するかを、評価シートに記載していただきたい。 ・食文化についても歴史まちづくり計画に関連付けてほしい。 (今後の対応方針) ・サイン計画について、歴史まちづくり協議会などからご意見をいただきながら取り組む。 ・文化財に関する催事について、秋の開催を検討する。 ・粟ヶ岳周辺の整備について、今すぐ実施はできないが担当課に報告する。 ・歴史まちづくり計画の周知と推進体制について、やや欠けている点があるので今後の検討課題とする。 ・進捗管理・評価の方法について、歴史まちづくり計画策定の目的に立ち戻り、評価を全体的に考えていくことが必要と思う。中間評価を目途に整理しておきたいと思う。 ・歴史まちづくりに関する報道等については、進捗評価シート「評価軸⑤－１」に記載。	